



# バンコク便り



## 1. はじめに

米中貿易摩擦の影響を受け、タイでも GDP 成長率の見通しを下方修正する動きが出ています。ドルに対しても6年ぶりの水準でパーツ高が拡大しており、このまま続けば輸出関連企業や観光業にとっても更なる影響が予測されますが、今般正式に発足した新政権の下、同国が産業高度化を目指すタイランド4.0や東部経済回廊(EEC)開発などの経済政策にも継続的に取り組み、タイ経済が成長・安定することが期待されています。

## 2. 当地ビジネス情報

### (東根市さくらんぼプロモーション2019の開催)

今年もカシコン銀行協力の下、東根市及び東根市農業協同組合等ご一行が7月3日～7月7日の日程で訪タイし、5年連続5回目のさくらんぼプロモーションが開催されました。今回の活動の中で、昨年度はオープンしていなかったバンコク高島屋やドン・キホーテ等のバンコク最新スポットの視察や、ワチラロンコン国王へ献上するためのさくらんぼ輸入に関しての打ち合わせ等を行うなど、新たな角度からの商談も行われました。

店頭でのプロモーションはバンコク中心部の高級百貨店2店舗で行い、タイ人や中国人、観光客を中心に紅秀峰の魅力を伝えましたが、「宝石みたいだ」、「ほど良い甘さで美味しい」といった感想も多く、小職がご一緒した過去2回の活動に比べお客さまの反応も良好でした。日本食品をタイで普及させるのは価格面や競合が多いことから非常に難しいですが、東根市のようにプロモーション活動を続けてきたからこそ、徐々に認知度が上がり、さくらんぼの味を理解している人が増えてきたのではないかと感じました。

山形県にはさくらんぼ以外にも魅力的なモノがたくさんありますので、このように地道な活動をきっかけに日本・山形に興味を持ち実際に来県していただくなど、両国(県)の相互交流が広がる活動を1件でも多く応援して参りたいと思います。



バンコク高島屋との商談



セントラルワールド(当地百貨店)  
販売ブース



店頭プロモーション

## 3. 現地トピックス

### (タイのフードデリバリーサービスについて) 引用: カシコンリサーチセンター「THAILAND ECONOMIC UPDATE June 2019」

タイではスマートフォンなどのインターネット関連テクノロジーの発展により、モバイルアプリからいつでも料理を注文できるようになっています。近年では共働き夫婦が増えていることもあり、食事時短ニーズが高まっている点も利用増加の背景としてあるようです。当サービスは従来の出前のように店舗のスタッフが出前を行うのではなく、一般人による「出前代行システム」となっており、このシステムを利用することで店舗としても配達スタッフを雇わず対応できることで売上げアップにつなげている飲食店は多くあります。カシコンリサーチセンターでは2019年のタイのフードデリバリー市場が前年比14%増の330億～350億パーツ規模に拡大すると予想しています。

小職も当サービスの一つを利用していますが、選べるレストランの種類も多く、配送料も40パーツ(約140円)程度と安いので非常に便利なアプリとなっており、タイ人をはじめ多くの駐在員も利用しています。

カシコン銀行のビジネスアドバイザーサイトでは経済レポートや業界分析レポートなどを発行しており、一部、日本語でのレポートもありますので、ご興味がある方はぜひ一度下記サイトをご覧ください。

アドバイザーサイト URL : <https://www.kasikornbank.com/international-business/en/Pages/Home.aspx>

【本件に関する連絡先】 地方創生部 海外業務 G 石井・高橋・榎 023-626-9050

【作成協力】 カシコン銀行日系金融法人チーム(在バンコク)